

札幌国際プラザと「米国ポートランドを知るセミナー」を共催

10月26日（土）、札幌市と米国オレゴン州ポートランド市の姉妹都市提携60周年記念事業に関連して、札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年記念「米国ポートランドを知るセミナー～わたしの街、わたしの暮らし」を、公益財団法人札幌国際プラザ主催、本学と札幌市の共催にて、本学学術交流会館で開催しました。

本学は昭和47年にポートランド州立大学と協定校関係を結び、以来長きにわたる交流を続けてきました。令和元年6月1日には、同大学内に、平成29年に横浜国立大学が同学に開所していたオフィスを共同利用する形式で「北海道大学北米ポートランドオフィス」を開所しました。6月に実施したポートランドでの同オフィス開所式には、

札幌市から姉妹都市記念事業訪問団が参列しましたが、本セミナーには、テッド・ウィーラーポートランド市長を含む、ポートランド市の訪問団を迎えました。若い世代からの講演として、本学理学部生物学科の盛藤 舞さんら2名の大学生が自身のポートランドへの留学経験を発表しました。また、「街の人々が活躍するから楽しい、住みやすい！」と題したパネルディスカッションでは、本学北米ポートランドオフィス所長の川野辺創国際連携機構副機構長・教授が登壇しました。

本学からの登壇者のほか、ポートランド市開発局で事業開発オフィサーを務めた山崎満広氏、北海道教育大学学生で海外における日本語アシスタント

教師インターンシッププログラムに参加した佐々木珠希さん、ポートランド在住40年を超えるゴールドイ洋子ポートランド・札幌姉妹都市協会理事や、本学工学部出身で札幌ポートランド姉妹都市提携60周年記念ビールプロジェクトの発起人である大阪匡史氏、ポートランド市での警察官経験もある在札幌米国総領事館のロバート・ピケット総務・経済・領事部担当領事等が参加し、様々な視点からポートランド、そして札幌の今後の交流を展望する会となりました。本セミナーは、長谷川晃理事・副学長の閉会挨拶をもって、約150名の聴衆を前に、盛況のうちに終了しました。

(国際部国際連携課)



理学部盛藤さんの発表



パネルディスカッションの様子



長谷川理事・副学長の閉会挨拶



セミナー風景